

JOYNEAT

ジョイニート GV2 シリーズ

もくじ

1. 安全上のご注意	
安全上のご注意	2
2. 取付・設置上のお願い	3
3. 取付・設置の事前確認	
(1) 取付・設置部位の建築側の仕様確認	3
(2) 設置場所の水平・垂直・直角等のレベルの確認	3
(3) 建築側の間口・取合い寸法の確認	3
(4) 給水湯管・排水管の位置確認	4
(5) 床面の仕上げについて	4
(6) 補強桟の取外しについて	4
(7) 製品の荷受け確認	4
工事区分	5
4. 取付・設置手順	
(1) 水栓本体とシャワースタンドの取付け（別途水栓取付・設置説明書参照）	5
(2) 点検パネルの取外し	5
(3) 洗面化粧台の設置方法	5
(4) 引き出しの取外し、取付け（Aタイプ）	6
(5) 引き出しの取外し、取付け（B、Cタイプ）	6～7
(6) 水栓の配管（別途水栓取付・設置説明書参照）	7
(7) 引き出し前板の調整方法（Aタイプ）	7
(8) 引き出し前板の調整方法（B、Cタイプ）	8
(9) 扉の調整方法	9
(10) Uストラップの接続	9～11
(11) 点検パネルの取付	11
(12) コーキング	11
5. 仕上げ	
(1) 清掃	12
6. 点検	
(1) 安全点検	12
(2) 作動・外観の点検	12
7. 完了後の処置	
(1) 商品の養生について	12
(2) 取扱説明書の保管・引渡し方法	12
8. 残材処理	
(1) 梱包材その他残材の処置	12

取付・設置をされる方へのお願い

- 取付・設置をされる方の安全と使用者の安全確保のため、この取付・設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書は洗面化粧台のものです。その他のキャビネットはそれぞれに添付する取付・設置説明書をご覧ください。
- この取付・設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

1. 安全上のご注意

- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。



警告

水道工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行う。



水漏れの原因になることがあります。

組み込まれる機器・水栓などについては、それぞれの取付・設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。



思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

製品固定ネジを空転するまで無理に締め込まない。

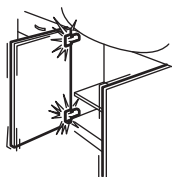


製品が倒れて、けがをするおそれがあります。



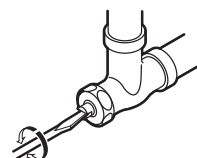
注意

取付・設置完了後は、扉のがたつきやゆりみのないことを必ず確認する。



使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。

止水栓で給水量を調節する。



水圧が高いと洗面器より水があふれることがあります。

排水器具・排水ホースの取付け及び給排水管の接続部分のシールは確実に行う。



水が漏れたり、湿気が上がり床などが腐るおそれがあります。

防臭キャップ部のシールは完全に行う。

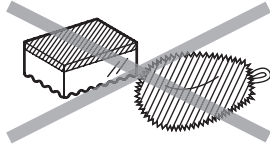


シールが不完全ですと蒸気などにより床を濡らしたり、キャビネット内部に結露が発生するおそれがあります。

2. 取付・設置上のお願い

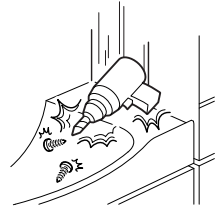
お 願 い

洗面カウンターの清掃にナイロンたわしなど硬いものを使用しないでください。



傷がつくおそれがありますので、中性洗剤を使用してやわらかいスポンジで軽く汚れを落とし、水で洗い流してください。

洗面カウンターの上に硬いものを落としたり、重いものを引きずらないでください。



洗面カウンターが割れたり、傷がつくおそれがあります。

清掃時には台所用中性洗剤を使用してください。

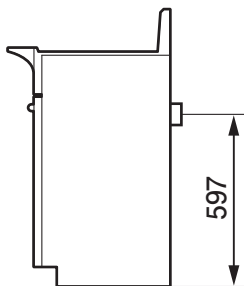


その他の洗剤及びベンジン・シンナー等の溶剤やみがき粉等の使用は、製品の変色・変質の原因となります。

3. 取付・設置の事前確認

(1) 取付・設置部位の建築側の仕様確認

製品を設置しようとする壁面には、取付位置に補強がされていることを確認してください。



⚠ 注 意

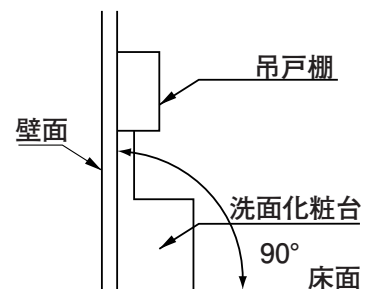
製品は、水平で平滑な床面にしっかりと固定する。



製品が倒れて、けがをするおそれがあります。

(2) 設置場所の水平・垂直・直角などのレベルの確認

- ・ 設置場所の水平・垂直・直角などのレベルを確認し、床面上の木クズ・ゴミなどは取り除いてください。
- ・ 洗面化粧台を設置する床面及び壁面に凹凸があると、扉や引き出しに段違いが生じますので、必ず平滑に仕上げてください。



(3) 建築側の間口・取合い寸法の確認

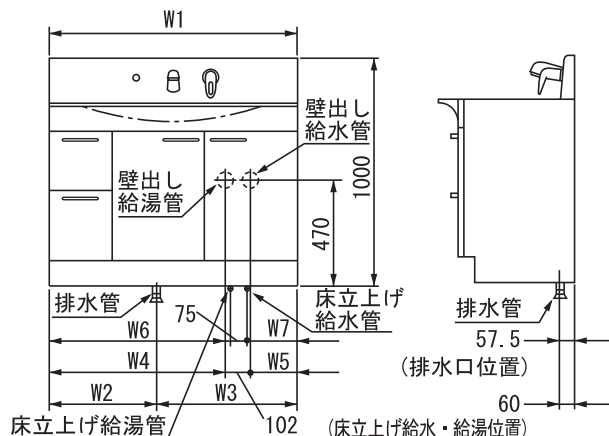
- ・ 製品の設置場所の間口、取合い寸法を確認してください。
- ・ 壁の横に引き出し付きのキャビネットを設置する場合は、扉、取手及び引き出しがドア枠、ドア、ドアノブ、見切り等に当たらないかどうかをご確認ください。

3. 取付・設置の事前確認（続き）

- (4) 給湯給水管・排水管の位置の確認
下図を参考に給湯管・給水管及び排水管が所定の位置にあるか確認してください。
建築側排水管は床面より 30 ～ 50mm の間の寸法で立ち上げてください。

● GV2 洗面化粧台の場合

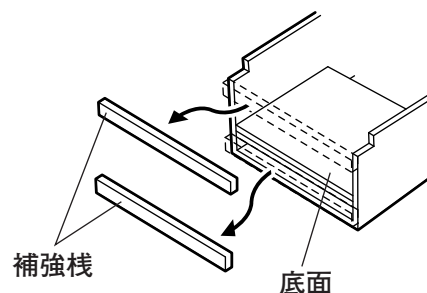
(単位：mm)



間口	製品 間口	排水口 間口		壁出し 給水・給湯位置		床立上げ 給水・給湯位置	
	W1	W2	W3	W4	W5	W6	W7
900	900	382	518	658	140	678	147
1000	1000	432	568	708	190	728	197
1200L	1200	382	818	658	440	678	447
1200R	1200	682	518	958	140	978	147

- (5) 床面の仕上げについて
製品搬入前に床面を仕上げておいてください。

- (6) 補強棧の取外しについて
ベンチワゴンタイプ洗面化粧台は輸送時の側板の
破損防止の為、底面に補強棧を仮固定しています
ので、設置前に取り外してください。



- (7) 製品の荷受け確認
注文通りの製品が納入されているかどうか、製品の損傷・付属部品の不足はないかなど
の製品の荷受け確認をしてください。

取付けネジ (φ 4.2 × 65)	2本
M4ワッシャー	2個
化粧キャップ	2個
水栓	1セット
防臭キャップ	1個
Uストラップ	1個
水受けタンク	1個
排水フタ	1枚
取扱説明書、取付・設置説明書	1セット

3. 取付・設置の事前確認（続き）

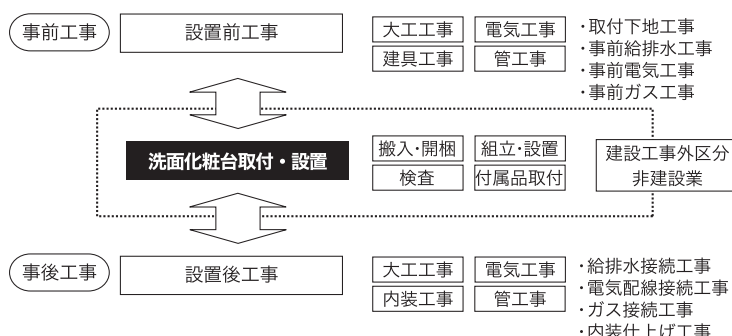
工事区分

！ 警 告

◎ 本説明書は、洗面化粧台の本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事（給排水）、管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。
建設工事は関連する法令・規定に従って、法的有資格者による工事が必要になります。
流通業者様（販売店様など）からの発注で下請けとして「本体の取付・設置」を行う場合は、建設工事部分と「洗面化粧台本体取付・設置」を区別して行ってください。



■洗面化粧台の取付・設置とユニット工事区分



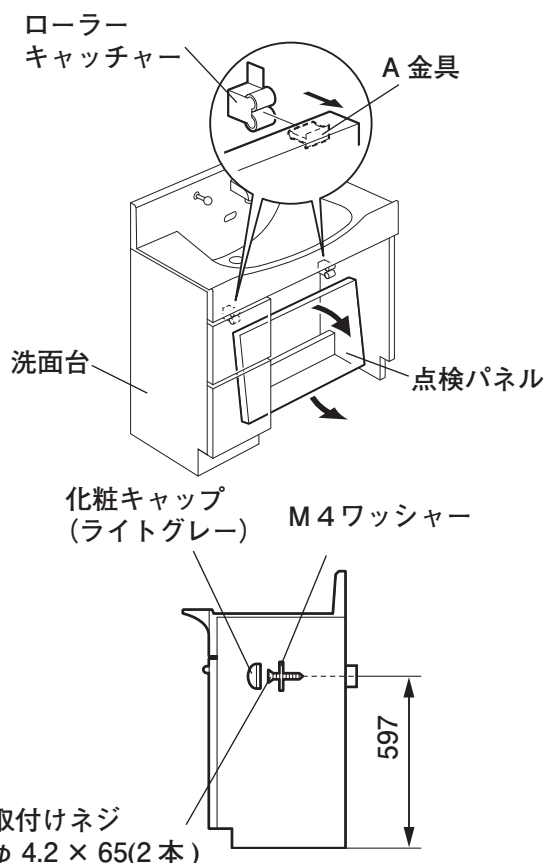
4. 取付・設置手順

- (1) 水栓本体とシャワースタンドの取付け
(別途水栓取付・設置説明書参照)
- (2) 点検パネルの取外し
 - 点検パネルの取外し
A金具をローラーキャッチャーから取り外し、点検パネルを取り外してください。

適用機種

- GV2 洗面台
(コンセプト：ベンチワゴン)
 - ・ GV2-900BMOSMW *
 - ・ GV2-1000BMOSMW *
 - ・ GV2-1200BMOSMW ** L/R

- (3) 洗面化粧台の設置方法
設置位置に洗面化粧台をセットし、キャビネット内、背板の取付穴より付属のネジ等で確実に固定してください。
(注) 引き出しタイプの洗面化粧台は、引き出しを取り外してから壁面への固定を行ってください。(次頁の(4)～(5)項参照)



4. 取付・設置手順（続き）

- (4) 引き出しの取外し、取付け（Aタイプ）
右図のような引き出しの取外し、取付けをする際は以下の要領で行ってください。

適用機種

● GV2 洗面台

（ベーシック：片引き出し / 全引き出し）

- ・ GV2 - (900/1000/1200) N (D/W)
MOSMW * (L/R)

（コンセプト：全引き出し / ベンチワゴン）

- ・ GV2 - (900/1000/1200) (W/B)
MOSMW * (L/R)

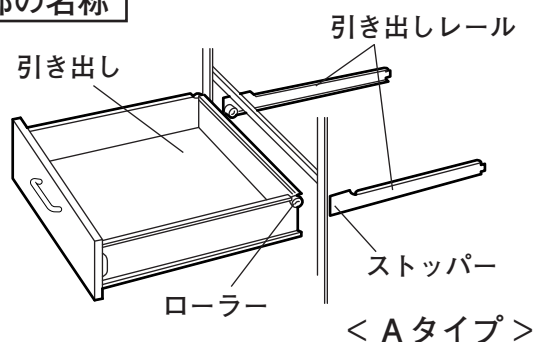
● 取外し方法

- ① 引き出しを引き出すとローラーがストッパーに当たります。
- ② ストッパーに当たりましたら、引き出しを上を持ち上げます。
- ③ 引き出しを手前に引きます。

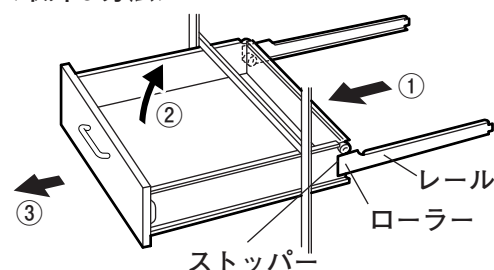
● 取付け方法

- ① 引き出しを両手で持ち、ローラーを引き出しレールに差し込みます。ななめ上から落とし込むようにするとうまく入ります。
- ② ストッパーが引き出しレール側のローラーを乗り越えたら、引き出しを水平にします。
- ③ 水平に押し込みます。

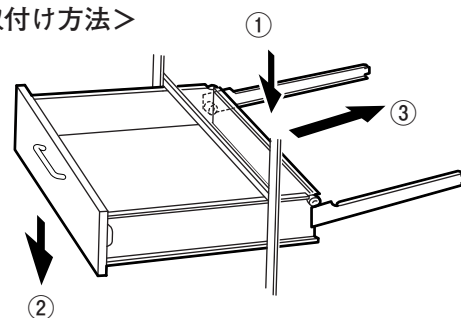
各部の名称



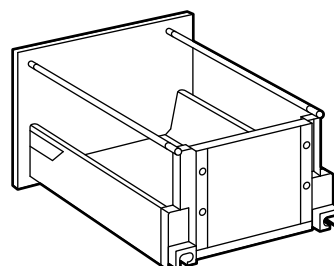
< 取外し方法 >



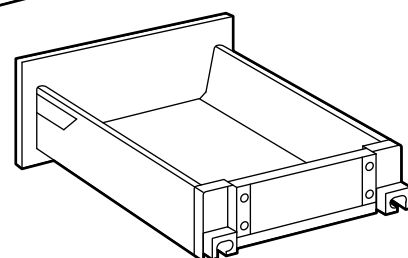
< 取付け方法 >



< Bタイプ >



< Cタイプ >



適用機種

● GV2 洗面台

（ベーシック：全引き出し）

- ・ GV2 - (900/1000/1200)
NWMOSMW * (L/R)

（コンセプト：全引き出し / ベンチワゴン）

- ・ GV2 - (900/1000/1200)
(W/B) MOSMW * (L/R)

4. 取付・設置手順（続き）

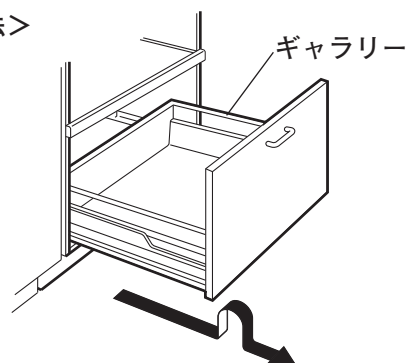
（5）引き出しの取外し、取付け（B、Cタイプ）（続き）

● 取外し方法

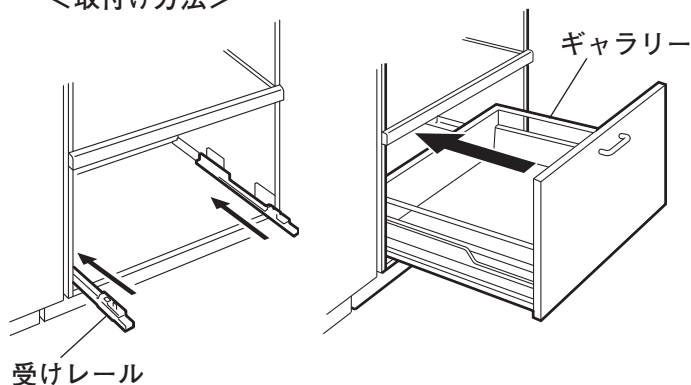
- ① 引き出しをいっぱいまで引いてください。＜取外し方法＞
- ② 少し上に持ち上げて、引いて取外してください。

● 取付け方法

- ① 受けレールを奥まで入れてください。
- ② 引き出しを受けレールに載せてください。
- ③ カチャッと音がするまで引き出しを押し込んでください。



＜取付け方法＞



⚠ 注意

ギャラリーを持たない。



ギャラリーが外れて引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。

（6）水栓の配管（別途水栓取付・設置説明書参照）

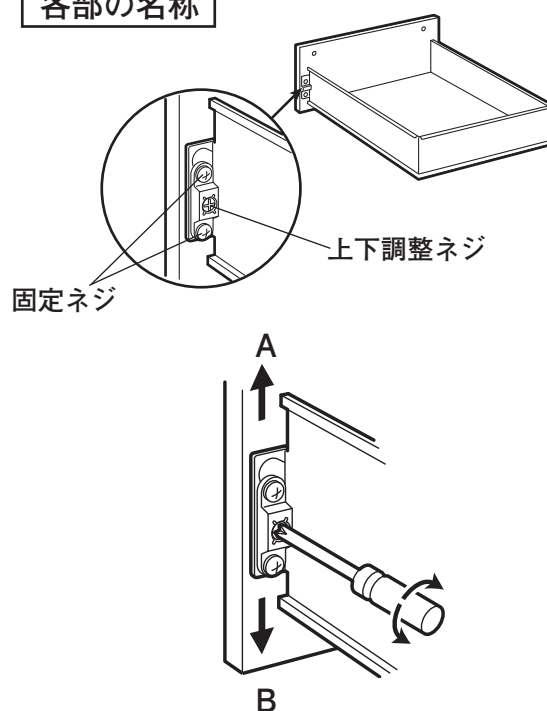
（7）引き出し前板の調整方法（Aタイプ）

右図のような引き出しの前板を調整する際は、以下の要領で行ってください。

左右の上下調整ネジを回して調整を行います。
上下調整ネジを時計回りに回すと引き出し前板がB方向に動き、反時計回りに回すと引き出し前板がA方向に動きます。

各部の名称

＜Aタイプ＞



適用機種

● GV2 洗面台

（ベーシック：片引き出し / 全引き出し）

・ GV2 — (900/1000/1200)
N (D/W) MOSMW * (L/R)

（コンセプト：全引き出し / ベンチワゴン）

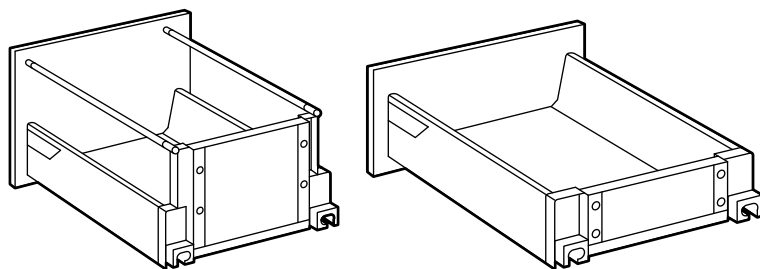
・ GV2 — (900/1000/1200)
(W/B) MOSMW * (L/R)

4. 取付・設置手順（続き）

- (8) 引き出し前板の調整方法（B、Cタイプ）
右図のような引き出しの前板を調整する際は、以下の要領で行ってください。

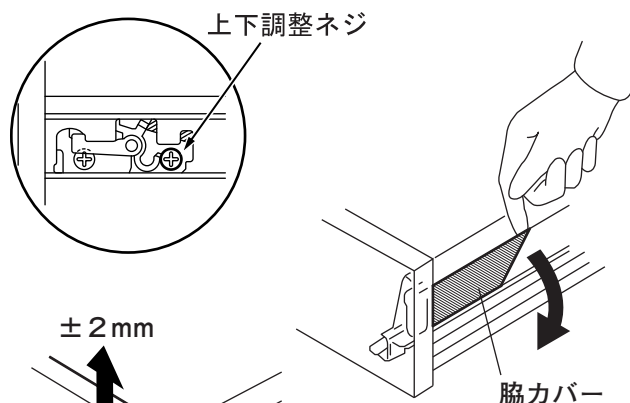
< Bタイプ >

< Cタイプ >



上下の調整をする場合

- ① 脇カバーを取り外してください。
外す際は上から下に押すようにしてください。
 - ② プラスドライバーで上下調整ネジを回すだけで上下調整できます。
- ※ 上下調整ネジは一方向に回し続けると上下動（±2mm）をくり返します。

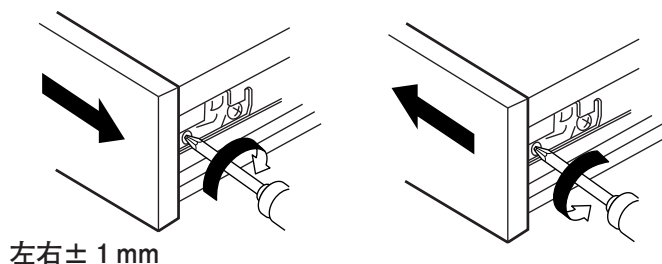


適用機種

- GV2 洗面台
(ベーシック：全引き出し)
 - ・ GV2 - (900/1000/1200)
NWMOSMW * (L/R)
- (コンセプト：全引き出し / ベンチワゴン)
 - ・ GV2 - (900/1000/1200)
(W/B) MOSMW * (L/R)

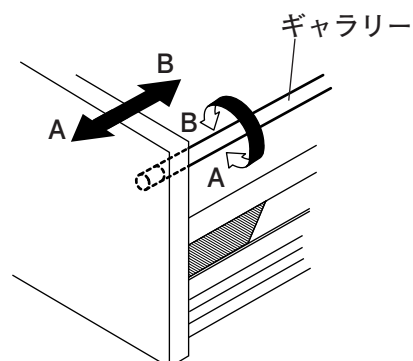
左右の調整をする場合

- ① 左右調整ネジを回して、前板を左右に調整してください。
- ② 必ず左右両側の調整を行ってください



前後の調整をする場合

- ① ギャラリーを回して、前板を前後に調整してください。



4. 取付・設置手順（続き）

（9）扉の調整方法

床面の修正が困難な場合などで扉の段違い調整が必要なときには、スペーサーによる調整方法と丁番による調整方法があります。

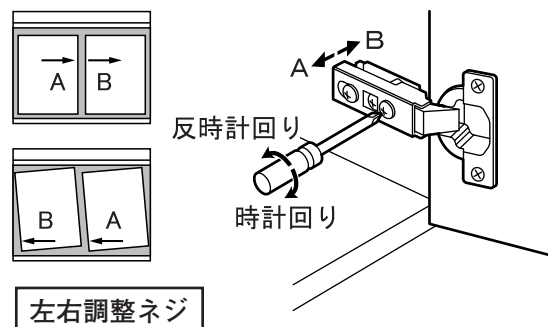
●スペーサーによる調整方法

床面と洗面化粧台との間にスペーサー（例えばベニヤ板の切端やブリキ板の切端）を入れて調整してください。

●丁番による調整方法

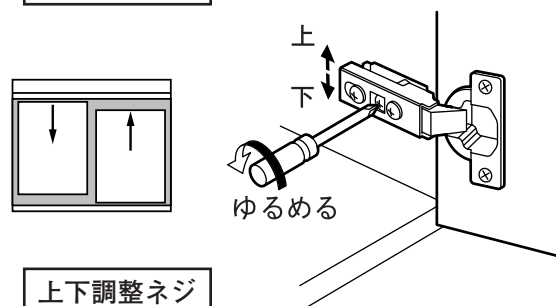
① 左右傾きの調整をする場合

左右調整ネジを回すことで調整が行えます。
左右調整ネジを時計回りに回すと扉がB方向に動き、反時計回りに回すと扉がA方向に動きます。



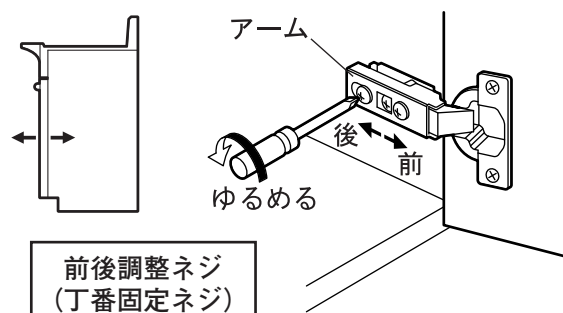
② 上下の調整をする場合

上下調整ネジをゆるめます。
扉を上下に動かして、扉の調整をします。
調整後はネジをしっかり締め付けてください。



③ 前後の調整をする場合

前後調整ネジをゆるめます。
アームを前後に動かして、扉の調整をします。
調整後はネジをしっかり締め付けてください。



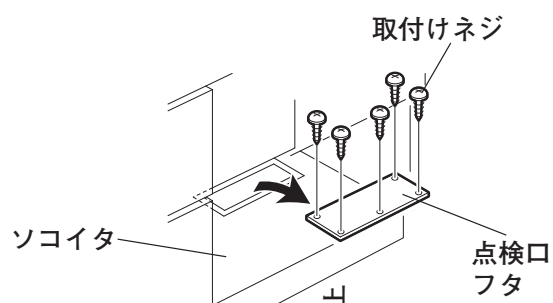
⚠ 注意

設置完了後は、扉のがたつきやゆるみのないことを必ず確認する。
使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。

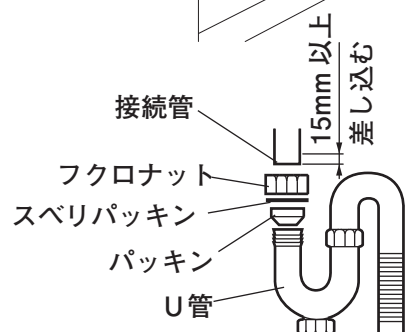


（10）U Sトラップの接続

① 取付けネジを外し、点検口フタを底板から取り外してください。



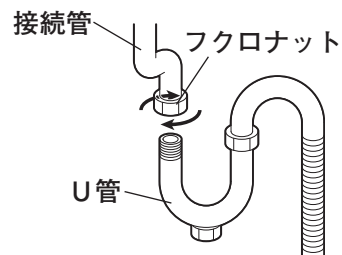
② U SトラップのU管に付いているフクロナットとパッキンを取り外し、排水トラップの接続管に差し込んでください。



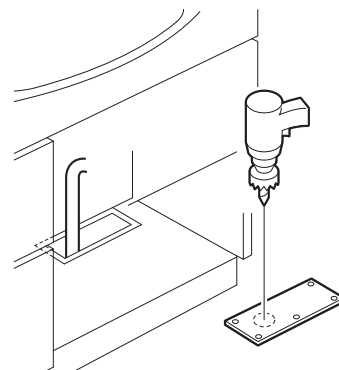
4. 取付・設置手順（続き）

(10) U Sトラップの接続（続き）

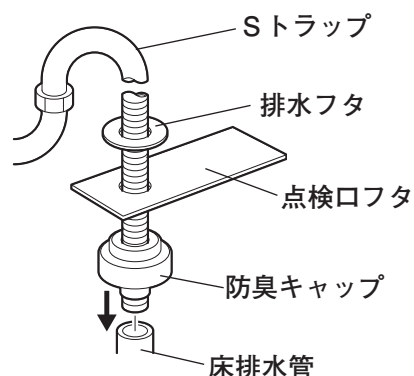
- ③ U管を右図の方向で取付け、フクロナットを手でしっかりしめ込んでください。



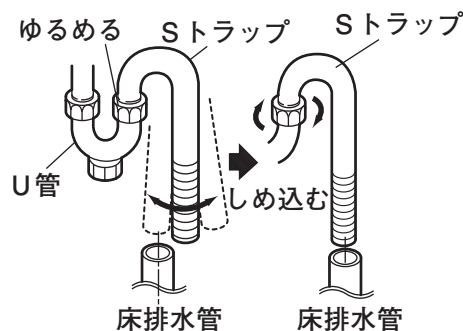
- ④ 床排水管の立ち上がり位置に合わせて、点検口フタにSトラップを通す穴を開けてください。
(推奨穴径：φ 35 ～ φ 45 mm)



- ⑤ Sトラップに排水フタ、点検口フタ、防臭キャップを通し床排水管に挿入してください。



- ⑥ U管とSトラップの接続部分のフクロナットをゆるめ、床排水管の立ち上がり位置に合わせて、角度を調節し、角度が決まったらフクロナットを手でしっかりしめ込んでください。



⚠ 注意

各部のフクロナットがゆるんでいないか確認し、ゆるんでいる場合は手でしっかりとしめ込む。



フクロナットがゆるんでいますと、水漏れの原因になります。

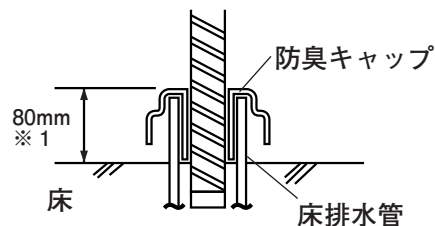
- ⑦ 床排水管との接合部に防臭キャップをはめ込み完全にシールしてください。

⚠ 注意

防臭キャップ部のシールは完全に行う。



シールが不完全ですと蒸気などにより床を濡らしたり、キャビネット内部に結露が発生するおそれがあります。

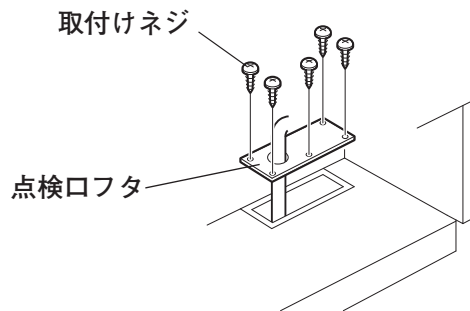


※1の立上げ寸法については、製品の高さにより変更してください。最小で 60mm 確保してください。

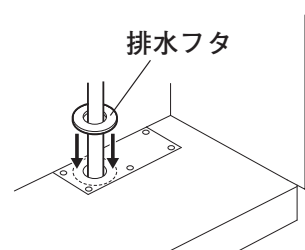
4. 取付・設置手順（続き）

(10) USトラップの接続（続き）

- ⑧ 点検口フタを底板に取付けネジで固定してください。

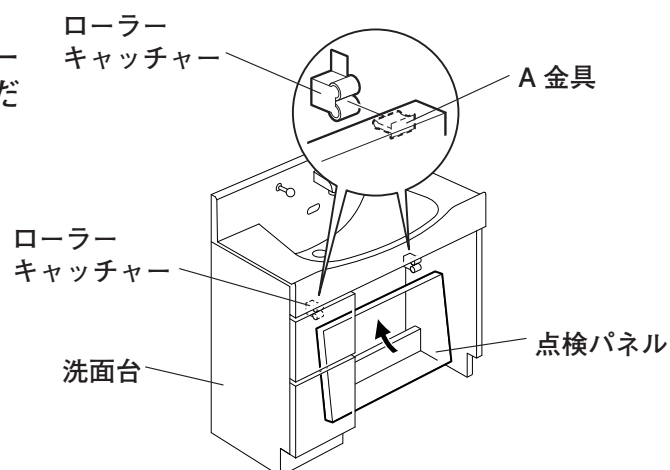


- ⑨ 排水フタ下面の離型紙をはがして点検口フタに貼り付けてください。



(11) 点検パネルの取付け

点検パネルのA金具をローラーキャッチャーにはめ込んで、点検パネルを取付けてください。

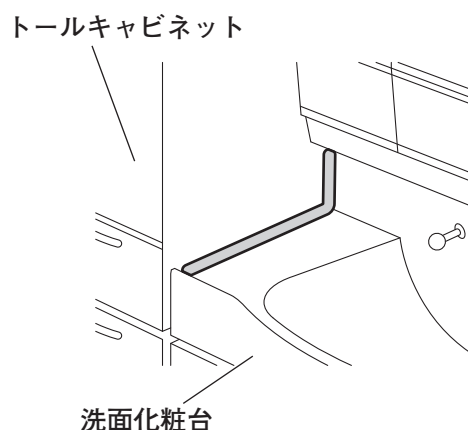


適用機種

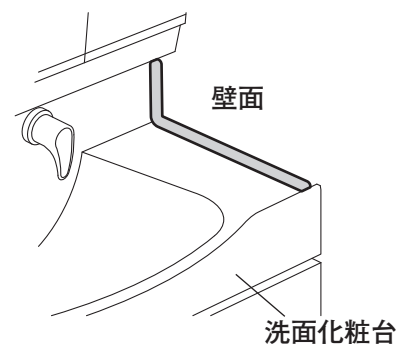
- GV2 洗面台
(コンセプト：ベンチワゴン)
- ・ GV2 - 900BMOSMW *
- ・ GV2 - 1000BMOSMW *
- ・ GV2 - 1200BMOSMW * L/R

(12) コーキング

- 洗面化粧台とトールキャビネットの組み合わせの場合は、右図の部分をコーキング処理してください。



- 洗面化粧台と壁面が接する部分は必ずコーキング処理してください。



⚠ 注意

コーキング処理はすきまのないよう確実に行う。



コーキング処理が不完全ですと、すきま部分より水が浸入し、キャビネットが腐食するおそれがあります。

5. 仕上げ

(1) 清掃

- ・ちょっとした汚れは、柔らかい布などで軽く拭いてください。
 - ・汚れのひどいときは、中性洗剤をスポンジか柔らかい布に含ませて、軽く拭いた後、水拭きしてください。
- 水拭き後は、必ず乾いた布で水分を拭きとってください。

お 願 い

清掃時には台所用中性洗剤を使用してください。

その他の洗剤及びベンジン・シンナー等の溶剤やみがき粉等の使用は、製品の変色・変質の原因となります。



6. 点検

(1) 安全点検

- ・取付・設置完了後、必ず各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

(2) 作動・外観の点検

- ・扉や引き出し前板に傾きがないこと、がたつきや緩みのないこと、及び正常に作動することを必ず確認してください。
- ・給水栓を全開にして5分間程度通水し、給湯水管および排水管などの各部に水漏れのないことを確認してください。
- ・扉や引き出し前板、洗面カウンターなど各部に傷などがいないことを確認してください。

7. 完了後の処置

(1) 商品の養生について

- ・製品および組込機器などは、お引渡しまでの間キズ、汚れがつかないように覆いをしておいてください。

(2) 取扱説明書の保管・引渡し方法

- ・製品および組込機器等の取扱説明書は、とりまとめて保管し、お引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

8. 残材処理

(1) 梱包材その他残材の処置

- ・不要部材を処分する場合は、必ず公的認可を受けている業者に依頼してください。

株式会社 ハウステック

東京都板橋区板橋 3-9-7 板橋センタービル 〒173-0004 Tel.03-5248-5500 www.housetec.co.jp